



朝の活動

4月は会議で島外に出ることが続いています。

今日は、初めて「朝の活動」に参加しました。子供たちと「ボッチャ」を楽しみました。

ゲームを通して、私が不在の間も、先生方が子供たち一人ひとりに寄り添い、丁寧にご指導くださっていることが伝わってきました。

また、子供たちも先生方の期待に応えようと、自分たちで考えて行動し、一歩ずつ成長している姿が目に見えます。

子供たちと先生方の絆は、学校の誇りです。

ぜひ、島民の皆さんも、お時間があるときに、学校にお立ち寄りいただき、様子を参観いただけたらと思っています。

「勝負事は互いに全力を出さねば面白くない！」

このことを姿で示す教員チームの面々。

対戦で見せた先生たちの動きは、まさにガチそのもの。担任の先生は、眼鏡を光らせながら、ターゲットにビタ付きのボールを投げ、子供をしょんぼりさせていました。

「いいか、これが社会の厳しさだ！」と言わんばかり（笑）

しかし、勝負の後には、敵味方関係なく、笑顔で活動の良さを語り合うことができました。大人気ないほど本気になれる先生たちの姿に、悔しがっていた子供の顔にも、いつの間にか最高の笑顔が弾けていました。

